



上尾ロータリークラブ



2018-19年度R.I.テーマ
インスピレーションになろう

第2780回 例会

2019.5.9

会長あいさつ



2018-2019年度 樋口 雅之 会長

週報 No.2113
発行 2019年 5月16日
会長 樋口 雅之
幹事 宇多村海児
副会長 須田 悦正
副幹事 齋藤 修弘
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 齋藤 哲雄

ビジターゲスト
上尾市教育委員会
学校教育指導課
上尾市教育センター
指導課長兼教育センター所長
太田 光登様
行事予定
5月23日 卓話 地区青少年
奉仕部門
5月30日 休会

皆さまこんにちは。本日は本年度第41回の例会、そして令和最初の例会に多数の皆さまにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、上尾市教育委員会 上尾市教育センター所長 太田光登様ようこそいらっしゃいました。卓話を交授していただいた、教育長職務代理者=細野パスト会長様、ありがとうございます。
さて、今年のゴールデンウィーク、天皇陛下の譲位と平成から令和への改元があり、10連休という会社や学校もあったようですが、皆さま、いかがお過ごしでしたか？
私は、連休初日の4月27日(土)は、鴻巣水曜RCさん主催の「ふれあい鴻巣ウォーキング」に朝から参加してきました。スタート会場の鴻巣陸上競技場に到着すると、入口で偶然出会った鴻巣RCの小川会長から「よかったら一緒に歩きましょう！」と声を掛けられ、私は一番短い6kmコースにエントリーしていたのですが、小川会長が一番長い16kmコースにエントリーしているとのこと、スタート間際に急遽、一番長いコースに変更してスタートしました。終盤苦しみながらも2時間50分で完歩してきました。当日ご参加で、急遽、お付き合いいただきました、齋藤哲雄さん、長沼さん、大変おつかれさまでした！
連休2日目の4月28日(日)は、夕方から上尾RC野球部の練習がございました。上尾東中学校のグラウンドで、選手7名に参加いただき、キャッチボール、バッティング練習、ノックなど、1時間半ほど汗を流しました。次回の練習は5月19日(日)を予定しております。6月29日の甲子園に向けてたくさんの選手のご参加をお願いいたします。
連休3日目の4月29日(月)は、都内まで娘の剣道部の都大会を応援に行きました。残念ながら団体戦初戦で敗退してしまいましたが、帰りの首都高大宮線、トヨタ新型スーパーのテストカーが偶然目の前に合流してきて、スマホで撮影したいと大はしゃぎでした。
連休後半の5月2日～5日の4日間は、家族で妻の京都の実家へ帰省してきました。早めに新幹線を予約していたので乗れましたが、行きも帰りも、駅も車内もかなりの混雑でした。大阪のあべのハルカスと、京都の嵐山などを観光して、毎日美味しいものを食べて、家族全員の体重が増えて帰ってきました。

連休最終日の5月6日(月)は、入間のアウトレットに買い物に行きました。
これまでと違う形の天皇陛下の譲位と改元という、記念すべき日だったとは思いますが、率直に申し上げますと、日本全国一斉に10連休というのは、公私ともに微妙だなと思われた方も多いことかと思えます。私も正直、疲れました。同じ10日間お休みをいただけるのなら、好きな時期に交代で10日ずつお休みを取る方が、いろんな意味で効率的だし有難いかなと、私は思います。
さて、本日の例会主題は、上尾市教育委員会の太田様より、「コミュニティ・スクールについて/上尾市英語力向上プラン」というテーマで卓話を頂戴いたします。英語といえば、我が国は大学まで含めると合計10年間は英語を学んだはずなのに、海外で英会話を不自由なく話せる日本人の大人はかなり少ないことから、先般、友好クラブを締結した台南東北RCの皆さんもそうですが、大抵どこの国の方も、英語は最低限話せるのがグローバルスタンダードでもある昨今、先進国の一つであるわが国が幼いころからアルファベットや英会話に触れ、最低限、英語で日常会話はできるようにしていくことが間違いなく必要だと思います。本日の卓話にて上尾市内の小中学校での英語教育の方針や展望をお聞きできるかもしれないので楽しみにしております。
令和最初の会長挨拶は以上とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇訃報です。久保田勲パスト会長のお母様が5月6日にご逝去されました。5月12日にお通夜、5月13日に告別式が行われます。

委員長報告

齋藤 修弘 次年度幹事予定者

4月22日に行われた次年度役員・理事・委員長予定者会議には17名の方にご出席いただきありがとうございます。次年度委員会方針もご提出いただき御礼を申し上げます。5月16日の例会は次年度年度計画の発表となります。各委員長予定者には方針を発表していただきますので、よろしくお願いいたします。



例会主題

【上尾市の特色ある教育】 コミュニティ・スクール/上尾市英語力向上プラン

上尾市教育センター 指導課長兼センター所長 太田光登様

皆さまこんにちは。本日は上尾市教育委員会 教育長職務代理者・細野宏道様のお招きをいただき参りました。また教育委員である大塚崇行様にもお世話になっております。私からは上尾市の教育について、時間の都合からコミュニティ・スクールと英語教育の2点に絞ってお話しさせていただきます。
まずコミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校です。学校運営協議会とは、学校の運営について協議する合議体組織です。ここには3つの大きな役割があります。
1) 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。
2) 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べること。
3) 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べること、です。今までであった学校評議員と大きく違うのは、意見の取扱い方です。学校運営協議会で話し合われた学校運営や教職員の任用に対する意見は、校長や教育委員会に意見として申し出ることができるようになります。それを受けた校長や教育委員会は、参考としてではなく、きちんと検討し対応しなくてはなりません。学校運営協



幹事報告

宇多村 海児幹事

◇5月のロータリーレートは1ドル=112円です。
◇寄付総額の世界上位3カ国は米、韓、日本です。
◇寄付・認証についてのニュースです。ロータリー災害救援基金が4月1日から設置されました。年次基金シェアやポリオプラスと同じように寄付分類の一つとして寄付の際に選択することができるようになりました。MyRotaryにログインすると選択できます。
◇5月22日に新旧会長・幹事会が開催されます。
◇6月29日の全国ロータリークラブ野球大会への参加者は現在15名です。まもなく締め切りますのでまだ回答されていない方はご回答をお願いします。



Rotary AGEO ROTARY CLUB

議会には大きな責任が伴います。校長の学校運営の基本方針を承認することで、共通の目標に向かって学校とともに子供たちを育てていくという姿勢で話し合いを進めていただけますようお願いいたします。
なぜ、このようなコミュニティ・スクールが必要なのかと言うと、多様な、複雑化した子供の問題を解決するには、学校のみだけでは不十分であること、地域、家庭だけでも難しいことから、3者が一体となって「社会総掛かりでの教育を実現」していくことが必要になってきたからです。子供の実態を三者(学校・地域・家庭)で共通理解し、それぞれで何ができるかを考え、役割分担をして、多くの目で子供を育てるための仕組みがコミュニティ・スクールです。
平成16年からスタートしたコミュニティ・スクールですが、当初は思うように増加しませんでした。平成29年に、コミュニティ・スクールの設置が努力義務となったことから急増し、埼玉県では、平成29年度105校、平成30年度283校と急増しております。
そのような中、上尾市におきましては、平成29年から様々な準備を進め、本年4月からは、市内全33校がコミュニティ・スクールとなりました。上尾市のコミュニティ・スクールの委員は、学校評議員や学校関係者評価委員の方、PTA代表などの保護者の方や、学校応援団やおやじの会などの学校の支援組織の代表の方、区長さん、民生委員・児童委員さんなどの地域の方が多い傾向が見られます。その委員に校長が加わり、学校運営協議会という会議が開催されます。

Rotary AGEO ROTARY CLUB

です。子供たちの課題について、みんなでじっくり考えていくことが、学校運営協議会の大切な役割となります。学校運営協議会で熟議を実施することで、学校、家庭、地域で目標、ビジョンを共有ができるようになり、今までの見守り活動、学習支援活動などの1つ1つの支援活動が包んでいくようなイメージとなります。このように、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へと変わっていきます。今までは、学校の依頼に基づき、地域や保護者の方から支援していただく形が多々ございましたが、これからは「協働」という視点で共に対等な立場で協力していく形へと変わって参ります。
コミュニティ・スクールの効果について、大きく3つ御説明いたします。1つ目は、保護者や地域の方が教育の当事者となって学校へ関わることができるようになることです。学校運営協議会を通して、地域や保護者の方に学校の目標を共通理解していただき、より学校へ参加しやすくなることを期待されます。2つ目は、地域の方に専門性や地域力を生かして教育活動へ参画していただくことで、子供たちの学びや体験が充実します。地域の方にも、学校を地域のよりどころとしてより身近に捉えていただくことが、災害時の防災体制にも役立つことが期待されています。3つ目は、学校と地域、家庭が顔が見える関係となり、今まで以上に連携、協力が深くなることを期待されています。以前の研修で、「コミュニティ・スクールは、特効薬ではなく、漢方薬である」というお話を伺

上尾市のコミュニティ・スクール



ったことがあります。4月からコミュニティ・スクールになったからと言って目に見えてすぐ、何かが変わる訳ではありません。コミュニティ・スクールの仕組みの長所に「持続可能な取組ができること」が挙げられています。学校の教職員が異動しても、地域を熟知した「学校運営協議会委員」の方がいらついでことで、目指す子供の姿、教育目標は長く引き継がれていきます。

(上尾市英語力向上プラン)

市教委主催事業
夏休み
イングリッシュキャンプ 中学生海外派遣研修



対象：小学校5・6年生 対象：中学校3年生
場所：名栗げんきプラザ 場所：オーストラリア ロックヤーバレー市

私は3月まで大石北小の校長を務めていて、昨年12月に学校応援団が「地域学校協働活動の推進」に係る文部科学大臣表彰を受けました。全国で選ばれた109団体の中の1つです。
さて次に、英語教育の充実に関わるお話です。この事業の名称は、世界にはばたく かかやキッズ「上尾市英語力向上プラン」と申します。サブタイトルとして、「へ進んで英語を話せる上尾市を育てる～」を掲げております。日本の子どもは長期間英語を学ぶ割に、話せるようにはなっていない傾向にあります。躊躇するなく外国人と英語を話せる子どもを育てていこうというのが事業の狙いです。

活用」では、クラブ、委員会、給食、清掃等の時間にも、ALTを積極的に活用し、児童生徒が生きた英語に触れる機会を増やしています。
それから「英語4技能測定」を来年度から実施予定になっております。これは中学校2年生で「話す・聞く・読む・書く」の4技能を測定し、生徒の英語力向上の指標とするとともに、教員の指導力向上に生かしています。さらには「夏休みイングリッシュキャンプ」や「中学生海外派遣研修」を行っています。また教員側にも「外国語活動指導力研修会」や「外国語活動実技研修会」を夏季休業中に行い指導力を高めています。

9年間を見通した英語教育の充実を考えております。来年度から学習指導要領が改訂されます。これに先駆けて上尾市では昨年度から先行前倒しでこの時間の学習を行っています。上尾の子どもは、他の市町村とは別にしっかりと英語を学んでいこうという流れになっています。このような流れから、上尾市の小学校22校はALT(アシスタント・ラーニング・ティーチャー:ネイティブな外国人の先生)を25名配置しています。市内には100名近い大規模校もあり、手一杯のALTの方がいるので、増員しているものです。

以上、コミュニティ・スクールと英語力向上プランについてお話ししましたが、この他にも上尾市ではさまざまな特色ある教育を推進していますので、引き続きご協力のほどお願いいたします。本日はありがとうございました。



太田様、卓話を披露していただきありがとうございました！

スマイル

樋口会長、宇多村幹事、須田副会長、齋藤修弘副幹事、武重会員、大塚信郎会員、井上会員、村岡会員、尾花会員、細野会員、名取会員、大塚崇行会員、齋藤博重会員、藤村会員、齋藤哲雄会員、野瀬会員、長沼会員、坂本会員、春日会員、丹井会員、坂会員、山田会員

出席率			
出席 会員数	38	出席数	25
欠席 欠席数	13	(%)	65.79
前々回確定修正(%)	84.21	欠席数	6
		(M・U)	9

